

## 2月15日のウクライナ情報

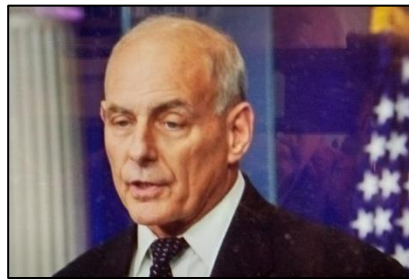
安齋育郎

### ①「トランプ再執権ならNATO脱退も…米軍の韓国駐留にも反対」(中央日報、2024年2月14日)

トランプ前米大統領の執権当時の官僚の間で、今年11月の米大統領選挙でトランプ氏が当選する場合、米国は北大西洋条約機構(NATO)から脱退する可能性があるという警告が出ている。トランプ氏は韓国・日本に米軍を駐留させることにも反対してきたという。

「NATO同盟国が十分な防衛費を負担しなければロシアが侵攻するよう促す」というトランプ氏の発言に欧州各国が反発する中、トランプ氏は「平等な防衛費分担」を強調する立場を改めて明らかにした。

12日(現地時間)の米CNN放送によると、トランプ政権で大統領首席補佐官だったジョン・ケリー氏、国家安全保障担当補佐官だったジョン・ボルトン氏ら元官僚らは「トランプ氏はNATO同盟の存在の意味を全く認識していない」とし「彼が再選されればNATO脱退を公式的に進めるだろう」と警告した。



ジョン・ケリー

こうした内容はCNNのアンカー、ジム・シュート氏が来月12日に出す新刊『強大国の帰還(The Return of Great powers)』にある。シュート氏が数十人の政治・軍事・安保専門家らに独占インタビューした内容で構成されている。

ケリー氏はシュート氏のインタビューで「トランプ氏はロシアのプーチン大統領、北朝鮮の金正恩(キム・ジョンウン)国務委員長を本当に良い人(okay guy)と考えている」とし「トランプ氏の視点では我々が彼らを苦しめていて、NATOがなかったとすればプーチン大統領はこのようなこと(ウクライナ侵攻)をしなかったはず」と説明した。

トランプ政権で顧問の役割をした複数の官僚はトランプ政権時代に米国がNATOから脱退するところだったというエピソードを詳しく説明した。2018年のブリュッセルNATO首脳会談でトランプ氏は当時のマーク・ミリー統合参謀本部議長とマーク・エスパー国防長官にNATO脱退を指示し、実際に脱退計画に着手したと伝えた。

ボルトン氏は「トランプ氏は最後の瞬間まで何をするか分からなかったため不安だった」とし「彼は(NATO)脱退を指示して撤回した」と話した。

ケリー氏は米国の安保公約を軽視するトランプ氏の態度が韓国・日本との相互防衛協定にも影響を及ぼすとし、「彼は韓国と日本に抑止力のために軍隊を駐留させることに完全に反対した」と伝えた。実際、トランプ氏は執権当時「安保ただ乗り」と表現しながら韓国に圧力を加えた。

一方、トランプ氏はこの日、「我々はNATOより1000億ドル以上も多い金額でウクライナを支援している。NATOは平等を維持するべきだ」とし、欧州の防衛費分担を強調する従来の立場を改めて強

調した。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/312a27d2fa7bf79666e5a332c065af5029bcb632/images/000>

## ②マスク氏「プーチン、ウクライナ戦から退けば暗殺…だから敗北はあり得ない」(中央日報、2024年2月14日)

テスラのイーロン・マスク最高経営責任者(CEO)はウクライナ戦争に関連してロシアのプーチン大統領が戦争から絶対に退くことはできないとし、そのためにプーチン氏に敗北はあり得ないという意見を明らかにした。

13日(現地時間)、ブルームバーグ通信など米国メディアによると、マスク氏は前日ソーシャルメディアのX(旧ツイッター)の「Xスペース」で開かれたウクライナ戦争関連のフォーラムで、プーチン大統領が戦争を続けなければならないという圧力を受けているとし「もし彼が後ろに退けば暗殺されるだろう」と話した。

あわせて「プーチンに敗北はあり得ない」と強調した。このような理由で、マスク氏は米国のウクライナ追加支援予算法案に反対すると明らかにした。

マスク氏は「戦争を延長することはウクライナのためにならない」とし、自身の関心事は戦争による人々の死を止めることだと話した。

続いてプーチン大統領の追放を追求することが賢明なことかは疑わしいとし、「ロシアの政権交代を望む人々はプーチンを除去できる人が誰なのか、その人が平和主義者なのかどうかも考えなければならない。おそらく違うだろう」と話した。

マスク氏は自身が時々プーチンの擁護者として非難されると言いながら「馬鹿らしい」と明らかにした。

マスク氏は自分の会社が「ロシアを弱めるために多くのことをしてきた」とし、ロシアのウクライナ侵攻後ウクライナにスペースXのインターネットサービス「スターリンク」を提供したことやスペースXが宇宙ロケット発射分野で躍進してロシアの比重を減らした点などについて言及した。

このフォーラムには米共和党所属上院議員のロン・ジョンソン、J. D. バンス、マイク・リー各氏と、共和党候補指名争いから撤退を表明したビベック・ラマスワミ氏、ベンチャーキャピタル「クラフト・ベンチヤーズ」の共同創業者デービッド・サックス氏らが参加した。

これに先立ってプーチン大統領は今年9日(日本時間)に公開されたタッカー・カールソン前米国フックス(FOX)ニュースアンカーとのインタビューで、マスク氏に対して「私は彼が勇気ある果敢な人だと思う」と評価していた。



### ③【ケネディ Jr.が語るウクライナ紛争】(2024年2月14日)

この戦争は決して起きるべきではなかった。

ロシア人たちが、繰り返し、とても有益な条件を出して解決を試みた上での、この戦争だ。

彼らが望んだ主要なことは、NATO 側がウクライナなしで維持されることだった。

軍部のお抱え業者たちはずっと NATO に新たな国々を入れようと常に動いてきた。

なぜか？

それは、そうやってその国が購入する武器を NATO 仕様の武器で占めなければならないからだ。

このことは、一定の企業—

Northrop Grumman(ノースロップ・グラマン)

Raytheon(レイセオン)

General Dynamics(ジェネラル・ダイナミックス)

Boeing(ボーイング)

Lockheed Martin(ロッキード・マーチン)

が市場にワナを張り続けるということだ。

2022年3月、我々は1,130億ドルを約束した。

一例を上げれば、(そのお金があれば)ほぼ全てのホームレスに家を建てることができただろう。

その後、さらに240億ドル、2ヶ月前に追加で約束した。そして今、バイデン大統領は600億ドルをまた要求している。

しかし、戦争が終われば、我々が破壊したものを全て再建するためにさらに多くの出費が出るだろう。

ミッチ・マコーネル(共和党)は「我々はウクライナに本当に1,130億を注ぎ込んでいいのだろうか？」と質問された。

「心配するな」と彼は言った。「実際はウクライナではなく、その金は米国の防衛産業に流れていくのだから」。

つまり、「資金洗浄」プランであることをさっくり認めたのだ。

それらの企業の持ち主は誰か、信じられるか？

そう、BlackRockだ。

ティム・スコット(共和党)は共和党の議論で「心配するな。これはウクライナへの贈り物ではなく貸付だ。だから、貸し付けた金はいずれ戻ってくると思うなら賛成しろ」と言った。

ああ、もちろん、そんなことにはならない。

それなら、なぜ「貸し付け」と呼ぶのか。

なぜなら、貸し付けと言えば、貸し付ける条件を科すことができるからだ。

ならば、我々は彼らにどんな条件を科しているのか？

1つ目は極端な緊縮政策だ。

ウクライナの貧乏人は永遠に貧乏のままだ。

2つ目は最も重要だ。ウクライナは国が所有する全ての資産を多国籍企業に売りに出さなければな

らない。土地、ヨーロッパで唯一大きな位置を占める農地さえも。

ウクライナではその土地を巡って 1000 年以上、戦争があった。世界で最も豊かな土地であり、ヨーロッパの穀倉地帯だ。

ほぼ 50 万人のウクライナの息子たち、ほぼ男だが、彼らはその土地をウクライナの土地として維持するために死んでいった。

<https://twitter.com/i/status/1757621304751165762>



[https://twitter.com/Kumi\\_japonesa/status/1757621309213991127](https://twitter.com/Kumi_japonesa/status/1757621309213991127)

#### ④タッカー・カーソン vs. ジェイムズ・デイヴィッド・ヴァンス(2024年2月13日)

●タッカー:ウクライナがロシアとの戦争に勝てないことは、数カ月前に誰の目にも明らかになった。ウクライナ軍は西側から数千億ドルの支援を受けてもロシア軍を追い出す事はできないだろう。

ウクライナは NATO もアメリカも、産業能力もない。国民もない。

ロシアの人口はウクライナより 1 億人多い。つまり西側諸国がウクライナ軍をこれ以上支援してもウク人の死者が増えるだけでアメリカやドイツをはじめとする西側諸国の経済はさらに悪化する。

これは単なる愚行ではない。

自滅だ。狂気の沙汰だ。

ウクライナ人の全世代を残酷に殺す事を教唆している。

この事は誰の目にも明らかである。アメリカ上院は認識ではいつも現実から数年遅れているが、つい数週間前、腐敗し権威主義的なウクライナ政府にさらに 600 億ドルを送ることを決定した。

選挙は中止されキリスト教の宗派はすべて禁止され、そしてこのようなことを指摘したアメリカ人ジャーナリストは殺された。

それなのにミッチ・マコーネルの下で米国上院はウクライナにさらに 600 億ドルを送る計画を提案した。

今朝起きて、これが実際に起こりうると理解した世界中の理性的な人々の驚きを想像してみしてほしい。

そのことを念頭に置いて、私たちは反論を行う数少ない共和党議員の一人に話を聞こうと考えた。

オハイオ州選出の JD バンス議員です。上院議員、ご出演ありがとうございます。

この法案が現在どのような状況にあり、今後どのようなことが起こると予想され、またどのようになるべきだとお考えか、よろしければお聞かせください。

●JD バンス:ええタッカー。

ここで 2 つの大きなことが起こります。今夜、手続き上の採決をクリアするか、しないか。この法案を確実に廃案にするために、できる限りの事をします。

もう少しのところですよ。

民主党は共和党員 17 人と結束しており、この法案を廃案にするには共和党員のうち 8 人が票を入れ替えるだけでいい。

これが上院の現状だ。

第二に、率直に言って、この法案を廃案にする最大のチャンスは下院にある。この法案が上院を通過した後、下院に送られ、下院は少なくとも法案を改善する真の機会を得ることになる。

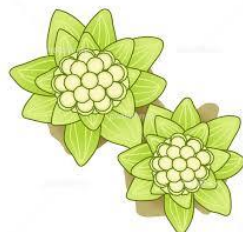
※安齋注:J.D.バンス(James David Vance)は、アメリカ合衆国の政治家、作家、ベンチャーキャピタリスト。自伝『ヒルビリー・エレジー』で知られる。この自伝には作家本人が育ったアパラチア地方の価値観と、社会的問題との関連が描かれる。同書は 2016 年と 2017 年にニューヨーク・タイムズのベストセラーリストに載り、2017 年には Dayton Literary Peace Prize の最終選考にも残った。

この J.D.バンスが火曜日、オハイオ州の上院空席選挙で民主党のティム・ライアン下院議員を破り、全国的に議席をひっくり返す絶好のチャンスと見ていた民主党に打撃を与えた。

<http://bit.ly/3UC8w88>

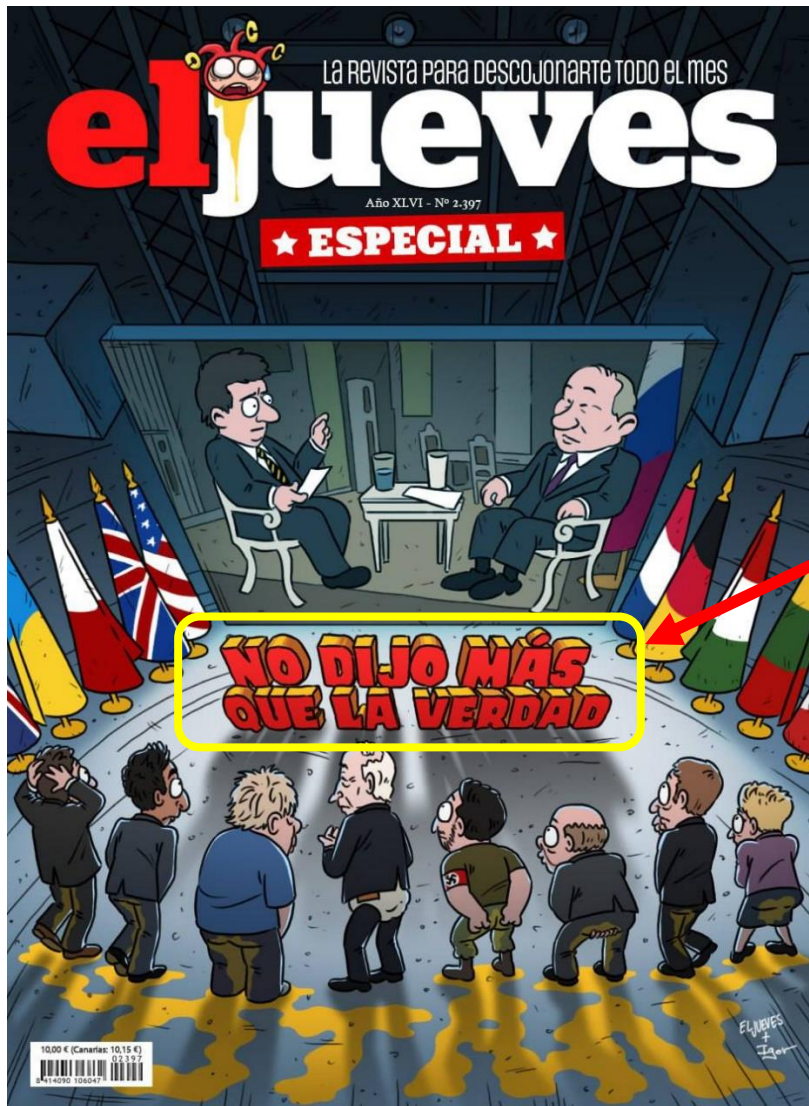


<https://twitter.com/Reloaded7701/status/1757187113349750871?s=09>



## ⑤ スペインの週刊風刺雑誌 エル・フエベス(2024年2月24日)

プーチン大統領へのタッカー・カールソンインタビュー。[彼は真実しか語らなかった]  
オムツをしているバイデン以外は漏らしている、の図



彼は真実しか言わなかった

<https://twitter.com/tobimono2/status/1757669343914246646/photo/1>

※おもしろが描いた文字は“OTAN”=スペイン語で“NATO”のこと。NATO が汚物をまき散らし、臭気を放っている？

## ⑥ 2024.2.14【プーチン大統領インタビュー】西側グローバルリストは悩乱状態(及川幸久、2024年2月14日)

- ウクライナ和平を訴えたプーチンに対して、米上院は 610 億ドルのウクライナ追加支援法案を可決。
- なぜ西側グローバルリストたちは戦争を続けたいのか？その理由は、戦争が終わると自分たちの犯罪がバレるから。特に生物兵器と人体実験
- プーチンがウクライナ侵攻した、もう一つの理由は「生物兵器研究所」

<詳しくは動画で>

2/14 YouTube アシタノワダイ出演:

<https://youtube.com/watch?v=9PhkWYU54Q4>

2/15 YouTube チャンネル桜出演:

<https://youtube.com/watch?v=yC6kLBFJfio>

2/16 及川幸久 ニコ生 プーチン・インタビュー徹底解説:

<https://live.nicovideo.jp/watch/lv343994388>

2/10 及川幸久 THE CORE オンライン講演会アーカイブ:

[https://twitter.com/oikawa\\_yukihisa/status/1756270768160395744](https://twitter.com/oikawa_yukihisa/status/1756270768160395744)

THE CORE について

<https://2u.fan/channels/557927565810>

<https://twitter.com/i/status/1757582339788730595>



[https://twitter.com/oikawa\\_yukihisa/status/1757582339788730595?s=09](https://twitter.com/oikawa_yukihisa/status/1757582339788730595?s=09)

## ⑦ワグネルをプーチン氏直属「国家親衛隊」に正式編入…アフリカでは現地のクーデター政権を支援(読賣新聞、2024年2月15日)

【ヨハネスブルク＝笹子美奈子】ロシアのウクライナ侵略で露軍の貴重な戦力となった民間軍事会社「ワグネル」の再編が進んでいる。昨年12月、プーチン大統領直属の治安機関「国家親衛隊」に正式編入された。ワグネルが拠点を築いてきたアフリカでは新たに設立された雇い兵部隊に編入され、現地のクーデター政権を支援する。

英国防省によると、プーチン氏は昨年12月、国家親衛隊を再編する法令に署名し、ワグネルの3部隊が国家親衛隊に編入された。編入された部隊はウクライナに6か月、アフリカに9か月派遣される可能性が高いという。ワグネルの創設者エフゲニー・プリゴジン氏は昨年6月に反乱を起こし、8月に主要幹部らとともに航空機事故で死亡した。戦力は大幅に低下したとの見方があるが、英国防省は「再編はワグネルを従属させ、国家による統制強化に成功したことを示している」と指摘した。

ワグネルの新指導者アントン・エリザロフ氏はビデオ声明で、ウクライナ出撃の拠点になっている露南部ロストフ州の露軍基地にワグネルの新本部「コサック・キャンプ」を置き、編入部隊が駐屯することを明らかにした。実戦経験が豊富なワグネル兵のウクライナ再投入は、戦況に影響を与える可能性がある。

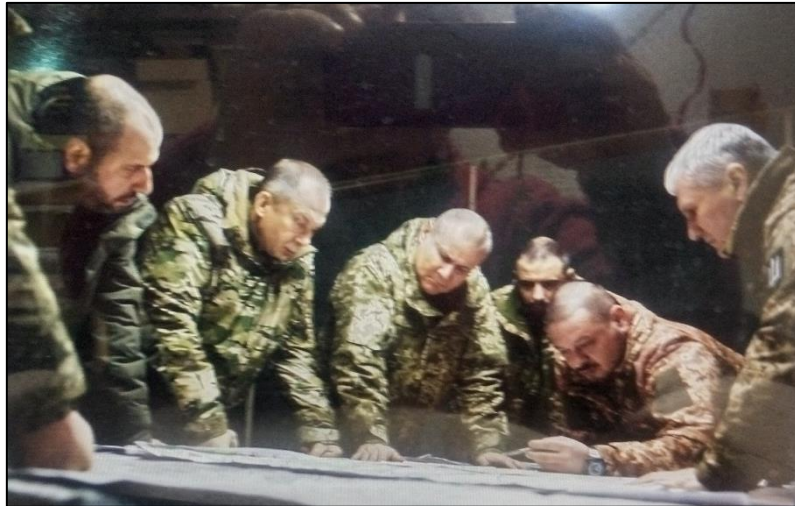
プーチン政権はアフリカでのワグネルの事業継承も進めている。露国防省傘下の雇い兵部隊を設立し、ナチス・ドイツのアフリカ遠征軍と同じ「アフリカ軍団」と名付けた。米ブルームバーグによると、親露的なリビア、マリ、中央アフリカ、ニジェール、ブルキナファソの5か国で2万人の戦闘員を募集して

いる。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/bda3c111833764bfad2424548dc5bdd32a7952e0>

## ⑧ウクライナ軍新総司令官、初の前線視察 状況は「極めて困難」(JIJI.COM, 2024年2月14日)

【AFP=時事】ウクライナ軍のオレクサンドル・シルスキー(Oleksandr Syrsky)新総司令官は 14日、東部の前線を視察した後、現地の状況は「極めて困難」だと警告した。米国の軍事支援の遅れがウクライナ軍の戦線維持に影響を落としている。



【写真】前線を視察するウクライナ軍の新総司令官ら

約 1000 キロに及ぶ前線は、過去 1 年以上ほとんど動いていない。ウクライナ軍は昨年の反転攻勢失敗後、守勢に回っており、軍指導部はロシアが動員力で優位にあると認めている。

先週解任されたワレリー・ザルジニー(Valery Zaluzhny)氏に代わって就任したシルスキー氏は、総司令官として初めて前線を視察。

ロシア軍が占領を試み、攻勢を強化している東部ドネツク(Donetsk)州アウディーイウカ(Avdiiivka)周辺を、ルステム・ウメロフ(Rustem Umerov)国防相と共に訪れたシルスキー氏は、「作戦環境は非常に複雑でストレスが大きい。ロシアの占領軍は継続的に戦力を増強しており、兵員数でも優位に立っている」と述べた。

また SNS には「わが国の領土の奥深くまで敵が進軍するのを阻止するため、可能な限りのことをしている」と投稿。前線の部隊は「極めて困難な状況」で活動していると報告した。

ロシアの軍事ブロガーや地元当局者は最近、ウクライナ軍は弾薬を節約しているようだと指摘している。

ウクライナ軍は大量の兵器や装備を米国を主とする西側の支援に頼っているが、米国では 600 億ドル(約 9 兆円)のウクライナに対する最新の支援が、議会内の対立で保留状態にある。

【翻訳編集】AFPBB News

<https://news.yahoo.co.jp/articles/213065b0fc76d80eb0290ff3eb6842316174607e/images/000>